

MONTHLY LINE UP

ROCKUMENTARY2022 極上のロック・ドキュメンタリー



アネット

[2021年/仏・独・ベルギー・日/140分] 監督:レオス・カラックス 出演:アダム・ドライバー、マリオン・コティヤール、サイモン・ヘルバーク 原案・音楽:スパークス

愛が、たぎる。

『ボンヌの恋人』『汚れた血』などの鬼才レオス・カラックスが、アダム・ドライバーとマリオン・コティヤールを主演に迎えたロック・オペラ・ミュージカル。ロン&ラッセル・メイ兄弟によるポップバンド「スパークス」がストーリー仕立てのスタジオアルバムとして構築していた物語を原案に、映画全編を歌で語り、全ての歌をライブで収録した。第74回カンヌ国際映画祭で監督賞を受賞。

[上映日程] 5/1~20 (休映:5/9、16)



リンダ・ロンシュタット サウンド・オブ・マイ・ヴォイス

[2019年/アメリカ/93分] PG12 出演:リンダ・ロンシュタット、ジャクソン・ブラウン、ライ・クーダー、キャメロン・クロウ 監督:ロブ・エプスタイン&ジェフリー・フリドマン

どんなジャンルの曲も歌いこなした稀代のシンガー、リンダ・ロンシュタット。幾多の全米ナンバーワン曲とミリオンヒットアルバムを叩き出し、グラミー賞を10度受賞。輝かしい栄光と、その後の知られざる人生を描く。

[上映日程] 5/7~20 (休映:5/9、16)



スージーQ

[2019年/オーストラリア/104分] 出演:スージー・クアトロ、ジョン・ジェット、デボラ・ハリ、アリス・クーパー 監督&製作:リアム・ファーマー

女性ロックシンガーの草分け的存在、スージー・クアトロの音楽史をたどる。ロックは男性のものと思われていた60年代、ジェンダー差別とも闘いながら大ヒット曲を連発。彼女のエネルギッシュな生き様を辿る音楽ドキュメンタリー。

[上映日程] 5/21~6/3 (休映:5/23、30)



ローレル・キャニオン 夢のウェストコースト・ロック

[2020年/アメリカ/120分] PG12 出演:ジャクソン・ブラウン、ジョニー・ミッチェル、デヴィッド・クロスビー、グラハム・ナッシュ、スティーヴン・スティルス、ニール・ヤング、ドン・ヘンリー 監督:アリソン・エルウッド

カリフォルニア・サウンドという言葉を生み出したウェスト・コーストロックの聖地、ローレル・キャニオンを巡る音楽ドキュメンタリー。錚々たるミュージシャンのヒット曲で紡ぐ夢の音楽映画。

[上映日程] 6/4~17 (休映:6/6、13)



Lancelot du Lac

A Film by Robert Bresson
Lancelot du Lac
監督:ロベール・ブレッソン
出演:リュック・シモン、ローラ・デュルク、コンドミナス、アンペール・バルザン

湖のランスロ

[1974年/フランス・イタリア/84分] 監督・脚本・台詞:ロベール・ブレッソン 出演:リュック・シモン、ローラ・デュルク、コンドミナス、アンペール・バルザン

騎士道精神の崩壊と許されざる恋を描いたブレッソン悲願の企画。

時は中世。城に帰還したものの、聖杯探しに失敗し多くの戦死者を出した円卓の騎士たち。その中のひとり、ランスロは王妃グニエヴルとの道ならぬ恋に苦悩していた。神に不倫をやめると誓うランスロだったが、王妃にその気はなかった……

[上映日程] 5/21~27 (休映:5/23)



Le Diable probablement

A Film by Robert Bresson
Le Diable probablement
監督:ロベール・ブレッソン
出演:アントワネット・モニエ、ティナ・イリサリ、アンリ・ド・モブラン、レティシア・カルカ

たぶん悪魔が

[1977年/フランス/97分] 監督・脚本・台詞:ロベール・ブレッソン 出演:アントワネット・モニエ、ティナ・イリサリ、アンリ・ド・モブラン、レティシア・カルカ

死の誘惑にとりつかれて彷徨う若者が、壊れゆく世界の果てで見つけたのは……

自殺願望に取り憑かれている美しい青年シャルルは、政治集会や教会の討論会に顔を出しても違和感を抱くだけで何も解決しない。冤罪で警察に連行されたシャルルは一層虚無に苛まれ、やがて銃を手にする。

[上映日程] 5/14~20 (休映:5/16)



勝手にしやがれ

[1960年(2020年4Kレストア版)/フランス/90分] 出演:ジャン・ポール・ベルモンド、ジーン・セバーグ、他 監督・脚本・台詞:ジャン・リュック・ゴダール 原案:フランソワ・トリュフォー

映画を変えた不滅の金字塔

自動車泥棒でマルセイユからパリへの逃走中警官を殺した男。かつて南仏でベッドを共にした新聞記者志望のアメリカ人留学生のアパートへ転がり込む。金を調達し二人でイタリアへ逃れようとする男と夢をかなえようとする女の行く末は……

[上映日程] 6/4~10 (休映:6/6)



気狂いピエロ

[1965年(2015年2Kレストア版)/フランス/110分] 出演:ジャン・ポール・ベルモンド、アンナ・カリナ、他 監督・脚本・台詞:ジャン・リュック・ゴダール

ヌーヴェル・ヴァーグの奇跡的傑作

パリで金持ちの妻との生活に辟易している男。偶然ベビースITTERにやってくる。彼女を家に送り一夜を共にするも、翌朝知らない男の死体が転がっていた。事情の分からぬまま、彼女の兄がいるという南仏に向かう……

[上映日程] 5/28~6/3 (休映:5/30)



アピチャポン・イン・ザ・ウッズ2022

[上映日程] 4/30~5/13 (休映:5/9、10) [鑑賞料金] 一般¥1,500 映劇特別会員¥1,000 その他通常通り

音響と映像に覚醒する

カンヌ国際映画祭最高賞受賞。コロンビアで撮影した新作「MEMORIA メモリア」が公開されるアピチャポン・ウィーラセタクン。本特集ではタイ時代の代表作を特集。故郷タイ東北部の森に映された音と映像が映画を拡張させていくアピチャポンの才能をあらためて全身で感じてください。

[上映日程] 5/14~27 (休映:5/16、23)



真昼の不思議な物体

[2000年/タイ/モノクロ/35mm/83分] 映画の常識を超えた 記念すべきデビュー長編

タイ北部の村で行商人の女性が、撮影クルーに促され、一つの架空の物語を語り始める。その続きを象徴的に少年たち、伝統演劇の劇団員たちなど、様々な人々がリレー形式で即興的に語り継ぎ、物語は二転、三転しながら思わぬ方向に進んでいく……この作家の現在につながる類まれな創造性を全編を通して発揮されている重要作。

[2020年/日本/58分] R18+ 企画・監督・撮影・出演:池田英彦 出演:毛利信巳 プロデューサー・撮影:脚本:真野勝成 共同プロデューサー・構成・編集:佐々木誠

愛について語るときに イケダの語ること

四肢軟骨無形成症という障害を持っているイケダが、胃癌ステージ4の宣告を受けた。彼は生きていく限りセックスを楽しむ、自分の恋愛をカメラに記録しようとする。闘病の末に亡くなったイケダが最後に遺したかったものは何なのか。

[上映日程] 5/21~27 (休映:5/23)

初日(5/21) 舞台挨拶あります



光りの墓

[2015年/タイ・イギリス・フランス・ドイツ・マレーシア/122分] 「記憶」というテーマの探求。 タイ時代の集大成。

腎臓の病に冒され、死を間近にしたアプミは、妻の妹ジュンとタイ東北部の自分の農園に呼び寄せた。そこは19年前に亡くなった妻が現れ、数年前に行方不明になった息子も姿を現す。やがて、アプミは愛するものたちとともに森に入っていく……美しく斬新なイメージで世界に驚きを与えた名作。

[2021年/ルーマニア・ルクセンブルク・チェコ・クロアチア/ルーマニア語/106分] R15+ 監督・脚本:ラドゥ・ジュデー

人間の本性は「卑猥」である。

コロナ禍を背景に偏見や個と公などについて問いつけ、ベルリン国際映画祭金熊賞に輝いた三部作立てのブラックコメディ。夫とセックス中の動画をインターネットで拡散された名門校の教師の行く末が描かれる。ニューヨークタイムズが選ぶ2021年ベスト2位にも選出され話題となった。

[上映日程] 5/28~6/10 (休映:5/30、6/6)



夕方のおともだち

[2021年/日本/115分] R18+ 出演:村上淳、菜葉菜、好井まさお、鮎川桃果、大西信満、宮崎吐夢、田口トモロヲ、AZUMI、鳥丸せつこ 監督:廣木隆一 エンディングテーマ:大橋トリオ「はじまりの唄」

女王様、少しだけ泣いてもいいですか?

市の水道局に勤め一見真面目そうに見えるヨシダヨシオは、夜になるとSMクラブの“女王様”ミホのもとに足しげく通う一面も持ち合わせていた。しかし彼はこの世界に彼を日めさせ、突然姿を消した“伝説の女王様”ユキ子のことが忘れられず、ここ最近プレイに身が入らずにいた……

[上映日程] 5/14~27 (休映:5/16、23)



夢みる小学校

[2021年/日本/91分] 監督・撮影・編集:オオタヴィン ナレーション:吉岡秀隆 エンディング曲:ザ・ブルーハーツ「夢」 出演:堀真一郎(きのくに子どもの村学園園長)、福田弘彦(伊那市立伊那小学校校長)、西郷孝彦(桜丘中学校前校長)、茂木健一郎(脳科学者)、尾木直樹(教育評論家)、辻信一(文化人類学者)、高橋源一郎(作家)

おとも子どもも、こんな学校に行きたかった!

テストや宿題、先生が存在せず、「自己決定・個性化・体験学習」を重視する学校「きのくに子どもの村学園」を取り上げたドキュメンタリー。主に「南アルプス子ども村小学校」での学校の様子や生徒の活動を映し出す。

[上映日程] 4/30~5/13 (休映:5/9、10)



僕の最後、映画にしちゃう?

[2020年/日本/58分] R18+ 企画・監督・撮影・出演:池田英彦 出演:毛利信巳 プロデューサー・撮影:脚本:真野勝成 共同プロデューサー・構成・編集:佐々木誠

四肢軟骨無形成症という障害を持っているイケダが、胃癌ステージ4の宣告を受けた。彼は生きていく限りセックスを楽しむ、自分の恋愛をカメラに記録しようとする。闘病の末に亡くなったイケダが最後に遺したかったものは何なのか。

すべては叩くという行為からはじまった

佐波島を拠点に日本の伝統芸能を世界に発信し続け、今年創立40周年を迎えた太鼓芸能集団 鼓童の初の主演映画。鼓童メンバーから届いたメールをきっかけに、goat、YPY、GEIST等のマルチな活動で知られる音楽家の日野浩志郎が、延べ1ヶ月に及ぶ鼓童村での滞在制作で書き下ろした89分の楽曲群を、鬼才・豊田利晃が全編佐波島で撮影、映像化した、震撼音楽映画。

[上映日程] 4/30~5/6



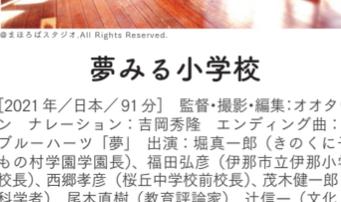
アンラッキー・セックス またはイカれたポルノ

[2021年/ルーマニア・ルクセンブルク・チェコ・クロアチア/ルーマニア語/106分] R15+ 監督・脚本:ラドゥ・ジュデー

人間の本性は「卑猥」である。

コロナ禍を背景に偏見や個と公などについて問いつけ、ベルリン国際映画祭金熊賞に輝いた三部作立てのブラックコメディ。夫とセックス中の動画をインターネットで拡散された名門校の教師の行く末が描かれる。ニューヨークタイムズが選ぶ2021年ベスト2位にも選出され話題となった。

[上映日程] 5/28~6/10 (休映:5/30、6/6)



戦慄せしめよ

[2021年/日本/89分] 監督・脚本:豊田利晃 音楽:日野浩志郎 演奏:太鼓芸能集団 鼓童 出演:浅川清彦

すべては叩くという行為からはじまった

佐波島を拠点に日本の伝統芸能を世界に発信し続け、今年創立40周年を迎えた太鼓芸能集団 鼓童の初の主演映画。鼓童メンバーから届いたメールをきっかけに、goat、YPY、GEIST等のマルチな活動で知られる音楽家の日野浩志郎が、延べ1ヶ月に及ぶ鼓童村での滞在制作で書き下ろした89分の楽曲群を、鬼才・豊田利晃が全編佐波島で撮影、映像化した、震撼音楽映画。

[上映日程] 4/30~5/6

牛久

[2021年/日本/87分] 監督・撮影・編集:アッシュ・トーマス

“おもてなし”の国、日本——?

茨城県牛久市にある東日本入国管理センター。国外退去を命じられた外国人を収容する。全国に17か所ある入管施設の一つで「牛久」と呼ばれている。収容されている外国人の中には、紛争などが原因で故郷に戻れず、難民申請をしている人も少なくない。そんな「牛久」に収容された9人と面会室で対面し、その模様を隠し撮りする。

[上映日程] 5/28~6/10 (休映:5/30、6/6)